

ホームページへの掲載		
済	6月中旬	掲載予定

## 岐阜県立各務原西高等学校

学校長 山田 英貴

学校住所 各務原市那加東亜町 24-1 電話 058-371-0123

- 1 会議の名称 平成30年度 学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- |     |       |                     |
|-----|-------|---------------------|
| 委員  | 松尾 恒典 | 十六銀行 各務原支店長         |
|     | 小林 茂弘 | 各務原中央ロータリークラブ会長（欠席） |
|     | 岩田 孝志 | 地域代表                |
|     | 道藤美智代 | 本校元PTA副会長           |
|     | 平井 佳美 | 本校第1回卒業生            |
| 学校側 | 山田 英貴 | 校長                  |
|     | 堀 修   | 教頭                  |
|     | 尾関 英明 | 事務長                 |
|     | 舘 弘士  | 教務主任                |
|     | 向井 好美 | 生徒指導主事              |
|     | 長谷川 博 | 進路指導主事              |
|     | 高谷 日和 | 特別活動部長              |
|     | 國居 秀則 | 教務副主任（記録）           |
- 3 会議の目的 学校運営について、住民や保護者に情報を提供すると共に、幅広く意見や要望を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進することを目指す。
- 4 会議の開催 平成30年5月31日（木） 15:30～16:30  
各務原西高等学校 校長室  
評議員4名、学校職員8名出席
- 5 会議の概要
- （1） 学校長挨拶、学校評議員委嘱
  - （2） 評議員自己紹介
  - （3） 学校側自己紹介
  - （4） 学校側説明（教務、生徒指導・進路指導・特別活動について）
  - （5） 評議員からのご提言・ご意見
  - （6） 諸連絡
- 6 会議内容報告

(1) テーマ 本校の説明

ア 学校長挨拶、評議員委嘱

イ 各担当者から

(ア) 教頭から

a 平成30年度 学校経営計画（マニフェスト）について

b 平成30年度 教育指導の重点について

- (イ) 教務部から
  - a 単位制の特色を生かした学校改革（特に授業改善＝アクティブラーニング型授業の推進）について
  - b 海外体験研修について
- (ウ) 生徒指導部から
  - a 社会の一員としてふさわしい倫理観と規範意識の育成について
  - b 「安心」と「安全」を守ること（支援の強化徹底と早期対応）について
- (エ) 進路指導部から
  - a キャリア教育の充実について
  - b 自立支援と進路実現について
  - c 進路実績の向上について
  - d 大学入試共通テストに向けての準備と研究について
- (オ) 特別活動部から
  - a 豊かな人間性・健全な心身の育成、リーダー性・自主性の育成、社会性・協調性の育成（生徒会、学校行事、部活動、ボランティア活動の取組）について

## (2) テーマ 評議員からの提言、意見、要望等

- ア インターンシップで看護体験等に取り組んでいるようだが、各務原市は航空宇宙産業において全国トップクラスで企業数（製造業者）が多く、是非とも地元企業を知る機会を設けてほしい。大学卒業後には地元に戻って活躍する人材の育成もお願いしたい。
- イ 評判の高い学校で、中学生の志望者が多いことも喜ばしい。教務部から話のあった単位制の特徴をしっかりと打ち出してほしい。アクティブラーニングによる主体的学習や韓国との姉妹校提携による国際化への取組は良い。少しでも良い方へ向うことを期待している。
- ウ 評判が良く、各西が母校であることを誇りに思う生徒、卒業生は多い。しかし、電車内の離れた場所にいる者同士が大声で話をしたり、飲食する場で勉強して席を埋めたりする姿が見られる。各西とわかる制服姿で周囲に迷惑をかけ、評判を落とすような行為は残念。場に応じた行動ができるように呼びかけをお願いしたい。
- エ 登下校する生徒の制服に乱れもなく、鞆の荷物の多さから、勉強など頑張っている姿がうかがえて感心する。しかし、残念なことにスマートフォンを見ながら自転車に乗っている生徒がいて危険を感じた。事故防止のための呼びかけもお願いしたい。
- オ 飲食の場で勉強することについて、大手コーヒー店では社会人等が仕事をしたりすることを容認しており、大人の姿を見て、こうしたことは許されることと考えている若者は多いのではないか。
- カ 各西の校章は桜がモチーフになっており、校舎周りの桜は各西の象徴的存在である。最近、老朽化したこともあり、多くの枝を剪定した結果、見栄えがあまり良くない。危険性との折り合いは必要だが、是非とも桜を守ってほしい。

## 7 会議のまとめ

評議員の方には日頃から学校に関心を持っていただき、具体的で明快な質問や意見が多く出された。学校に対する好意的な思いが語られ、今までの様々な取組について評価をしていただいた。さらに地元住民や親としての立場から、地域の中での学校の在り方や本校の目指す方向について示唆をいただいた。生徒の姿や学校の取組の評価が校外で高く評価していただけるよう、今回の貴重なご意見を参考に、今後も改善に向けて粘り強く努力し、生徒のために尽力していきたい。